

令和6年度第3回 感染症発生動向調査協議会
議事要旨

1 日 時 令和6年6月19日（水） 14:00～

2 場 所 岐阜大学医学部本館 1階 入札室（岐阜市柳戸1-1）

3 出席者

委 員 : 馬場 尚志（岐阜大学医学部附属病院 生体支援センター センター長）

大西 秀典（岐阜大学大学院医学系研究科 小児科学 教授）

澤田 明（岐阜大学医学部附属病院 眼科 臨床准教授）

加藤 達雄（国立病院機構長良医療センター 院長）

大野 元（岐阜県産婦人科医会 理事）

オブザーバー: 市原 拓（岐阜市保健所 感染症・医務薬務課 感染症1係長）

事 務 局 : 酢谷 奈津（感染症対策推進課 感染症対策第二係長）

高柳 瑛余（感染症対策推進課 主任技師）

村瀬 真子（保健環境研究所 所長）

野池 真奈美（保健環境研究所 主任専門研究員）

岡 隆史（保健環境研究所 主任専門研究員）

4 議 題（進行：澤田委員）

- (1) 前月の感染症発生動向について
- (2) 検討すべき課題について
- (3) 情報提供（月番委員専門分野から）
- (4) その他（感染症対策推進課から）

5 議事要旨

【前月の感染症発生動向について】

- ・事務局からの説明は資料のとおり。
- ・月番委員のコメントについては資料のとおり。

【検討すべき課題について】

○劇症型溶血性レンサ球菌感染症の流行について

（事務局から）

- ・全国において、今年は過去に例の無いほど早いスピードで同感染症の患者報告数が増加しています。岐阜県も同様であり、感染拡大を防止するために、どのような内容での啓発が効果的でしょうか。

（委員から）

- ・家族間での感染の可能性、特に抵抗力の弱い高齢者へのリスクを伝えることが重要だと思います。
- ・基本的には他の感染症と同様に、飛沫や接触を避けることを主として伝えることが良いのではないのでしょうか。